

☆キラリ☆ 教育活動に創意工夫を！

小・中学校に限らず、どの学校でも行われている教育活動があります。例えば、朝の会・帰りの会（朝の学活・帰りの学活）や掃除等です。「キラリ」のコーナーでは、それらをテーマとして、創意工夫のある取組や効果的な取組をしていらっしゃる学校を紹介します。

第1回のテーマは「朝の会（朝の学活）」で、唐津市立浜崎小学校の取組を紹介します。

浜崎小学校では、年度当初の職員会議において朝の会と帰りの会について基本的な流れ等を提案されます。平成26年度からは朝の会と帰りの会を『ビタミンタイム』として、ねらいや基本的な流れ等を明確にされ、全校で取り組まれています。

【浜崎小学校の朝の会から見える3つのポイント】

- ① 児童生徒の実態から、教師がねらいをもち、意図的に活動を仕組むこと。
- ② 児童生徒の主体的な活動を取り入れ、継続すること。
- ③ 児童生徒の実態を見ながら活動内容を改善すること。

浜崎小学校は、朝の会と帰りの会を『ビタミンタイム』としておられますが、今回のテーマである「朝の会」に絞って紹介します。

浜崎小学校『ビタミンタイム』 朝の会

1 朝の会のねらい

- ・ 単なる連絡事項を確認する時間にせず、1日の学校生活を気持ちよく始めるとともに、1日の見通しや目標をもつ。
- ・ 学級や自分を見つめたり係活動を行ったりするなど、短時間での活動と位置付け、学級の一員としての活動を活性化させる。

2 基本的な活動の流れと留意点

例

- 1 朝のあいさつ
- 2 健康観察
- 3 係からの連絡
- 4 1日のめあて
- 5 先生の話



朝の会の前： 始まる前に教室に行き、児童の登校の様子を把握する。また、気になる児童にはさりげなく声をかける。

- 1 あいさつ： 気持ちのよい生活をあいさつから始める。
- 2 健康観察： 学級への所属感、居場所としての意識を高めるために、遅刻・早退等、誰がどんな理由で教室にいないのかを全員で確認する。
- 3 係からの連絡： 1日の見通しをもつとともに、係の主体性を育むために、係の連絡を位置付ける。
- 4 1日のめあて： 前日の成果や課題と1日を見通して、個人のめあてを設定する。学習・生活の両面で設定してもよい。班の凝集度を高めるために、班ごとにめあてを設定するのもよい。
- 5 先生の話： 1日の生活が気持ちよく始められるように、明るく活力のある話をする。1日の見通しをもつとともに、学級のリーダーや係の主体性を育むために、めあてを位置付ける。

3 学級独自の活動

基本的な会の流れを児童がつかんだら、個人の所属感や学級のまとまりを強めるために少しずつ学級独自の活動（ディベート・ことわざ問題等）を会の中に組み入れていく。

4 学級の朝の会の実際

5年1組

- 1 朝のあいさつ
- 2 健康調査
- 3 今日の予定
- 4 今日のめあて
- 5 係から

担任 真島 沙織 先生



1日の見通しをもつことができるように、日直が今日の予定を発表します。
何をするのかわからないときには、真島先生に質問をして、教えてもらいます。



まず、今日のめあてを1分間考え、決めます。
次に、友だちとめあてを伝え合います。日によって伝える友だちが違うので、毎日たくさんの友だちと交流できます。



この日は、スマイルクイズ係がクイズを出す日。
みんなは黙って問題を聞き、分かったらピンと伸ばして手を挙げるルールが定着しています！
曜日によって登場する係が決まっています、それに向けて準備をしています。

朝の会は、私が学級経営の中心に据えている学級会に大きく関わっています。支持的風土のある学級を築くためには、友だちと関わり合う朝の会と学級会が欠かせません。今後、朝の会では、子どもたちが「早く学校に行きたい！」「もっと友だちと交流したい！」という活動をさらに仕組んでいきたいと思っています。

6年1組

- 1 立腰
- 2 あいさつ
- 3 健康観察
- 4 めあて
- 5 歌
- 6 係からの連絡
- 7 先生から
- 8 百人一首

担任 砂原 聡 先生



この日は、歌係が選曲した「オワリはじまり」をみんなで歌いました。砂原先生がギターで伴奏してくれます。朝から元気が出ます。



席を向かい合わせ、2名（3名）で対戦します。砂原先生が読み上げると、「はいっ。」と元気な声が教室中に響きます。
競技かるたを思わせる一瞬の勝負もあればお手つきもあります。真剣で楽しい雰囲気です。
勝敗で次の級が決まり、同じくらいの強さの友達と対戦できます。

いろいろな友達とふれ合うことは友達のよさを知るきっかけになり、男女が仲の良い学級作りにつながっていると思っています。4月は、まだ友達との関係を十分に構築できていませんでしたが、関わり合えるような活動を仕組むことで、互いに信頼関係もでき、男女関係なく、協力して学習や様々な活動に取り組むことができるようになってきました。

学校で共通理解し、統一した取組をしていれば、新学年の始まりである4月もスムーズにスタートさせることができ、児童生徒の不安も軽減されることでしょうか。また、朝の会（朝の学活）は、どの学校も毎日のように行われています。時間こそ短いですが、教師がねらいをもって活動の場を設定すれば、児童生徒はよりよい成長を遂げます。

みなさんの学校や学級でもぜひ参考にしてみてください。浜崎小学校の皆様、ご協力ありがとうございました。

キラリのコーナーでは、教育活動を取り上げ、学校の創意工夫や効果的な取組を今後も紹介していきます。次回は、中学校を予定しています。

